

授業科目 ヒューマンケアリング

【担当教員名】 塚本 康子	対象学年	1	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	

【概要・一般目標：G10】

人をケアすることの意味を問い、ケアの核となるケアリングの概念を探求し、理解する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. ケアリングの意味を考える。
2. ケアリングの概念がわかる。
3. ケアリングの理論を説明できる。
4. ケアリングの実際について考える。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ケアの意味	1	講義、担当：塚本 康子
2	看護におけるヒューマン・ケアリングーワトソン	1.2	講義、担当：塚本 康子
3	看護におけるヒューマン・ケアリング	1.2	講義、担当：塚本 康子
4	看護におけるヒューマン・ケアリング	3.4	講義、担当：塚本 康子
5	ケアの本質	1.4	講義、担当：塚本 康子
6	ケアリングの理論と実践	1～4	講義、担当：塚本 康子
7	グループ・ワーク、まとめ	1～4	G 発表、担当：塚本 康子
8	まとめ		担当：塚本 康子

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	資料にておこなう			
参考書	ケアの本質	ミルトン・メイヤロフ	ゆるみ出版	1993・1,545円
	ケアリングの理論と実践	キャロル・レッパネン	医学書院	1995・2,300円
	ケアリング	ネル・ノディングズ	晃洋書房	2004
	ワトソン 21 世紀の看護論	ジーン・ワトソン	日本看護協会出版会	2005
その他の資料				

【評価方法】

出席 10 点
レポート課題 90 点

【履修上の留意点】

文献を読み、自ら探求していきましょう